

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第10回「トリウム原子カシステム」研究専門委員会
開催日時	2021年3月10日(水) 13:15～16:30
開催場所	Zoomによるオンライン開催
参加人数	21名(敬称略・順不同) 高木(都市大)、小坂(MFBR)、山脇(原シ研懇)、 有田(福井大)、宇留賀(電中研)、奥出(サウスウエスト研)、深澤(NFD)、 吉岡(トリウム熔融塩国際フォーラム)、渡邊(静大)、関本(東工大)、 大川(電気通信大)、松井(エネ総研)、高橋(東芝)、鴨志田(日立GE)、 伊藤(NDC)、永沼(JAEA)、魚住(電中研)、後藤(東電)、稲垣(中電)、 宮川(原電)、大本(関電)記
議事	<p>(1) 前回議事録の確認 第1回研究専門委員会の開催報告が紹介され、本内容で承認された。</p> <p>(2) ご講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「DOEの先進的原子炉実証プログラム(ARDP)について」(深澤委員) 深澤委員より、米国DOEによる先進的原子炉実証プログラムの概要および選定されている炉型のうち熔融塩炉(KP-FHR、MCRE)・熔融塩(Natrium 炉の蓄熱系)に関する内容について説明があった。</li> <li>・ 「熔融塩高速炉のフィージビリティ・スタディー」(山脇委員) 山脇委員より、2019年度「社会的要請に応える革新的な原子力技術開発支援事業補助金」で検討した内容について報告があった。</li> <li>・ 「トリウム熔融塩燃料に関する研究」(有田委員) 有田委員より、熔融塩炉に関する主な研究の状況について報告があった。熔融塩燃料には様々な種類があり、その物性の取得は現在進行中であり、今後は物性値の数式化・一般化が必要という内容であった。</li> </ul> <p>(3) 今期委員会の活動内容及び成果報告のあり方について(高木主査) 今期委員会の活動として、一般の方に向けて、読みやすい形の報告書をまとめることとなった。章立て、分担は、幹事会の議論を経て提案することとなった。 また、次回は海外からの講演を委員会主催の公開シンポジウムとして開催することで調整することとなった。講演者への謝金はなしとする方向で調整する。</p>
備考	なし

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第9回「トリウム原子カシステム」研究専門委員会
開催日時	2020年12月25日(金) 10:00~12:00
開催場所	Zoomによるオンライン開催
参加人数	22名(敬称略・順不同) 高木(都市大)、魚住(電中研)、佐々(JAEA)、小坂(MFBR)、大本(関電)、渡邊(同志社)、三澤(京大)、鈴木(長岡技大)、宇留賀(電中研)、深澤(NFD)、中里(MHI)、吉岡(Th 熔融塩国際 F)、松井(エネ総研)、高橋(東芝 ES)、伊藤(NDC)、有田(福井大)、永沼(JAEA)、宮川(原電)、関本(東工大)、後藤(東電)、山脇(原シ研究懇)、鴨志田(日立 GE)(記)
議事	<p>(1) 各委員の自己紹介 第二期の初回開催にあたって、委員会参加者の自己紹介を実施。</p> <p>(2) 第一期最終議事録の確認(魚住幹事) 第一期第8回研究専門委員会の開催報告が紹介され、本内容を確認した。</p> <p>(3) 2期目の活動目的の紹介、並びに活動内容や成果報告の在り方の検討(高木主査) 高木主査より第二期の活動方針が提案され、質疑応答を経て了承された。</p> <p>(4) 1期目の委員会報告のレビュー(高木主査、他) 第一期の成果報告である2020年秋の大会企画セッションの概要について各発表者より報告され、質疑応答を経て了承された。</p> <p>(5) その他 高木主査より次回委員会を来年2月~3月に実施する方針が提案され了承された。</p>
備考	なし

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第8回「トリウム原子カシステム」研究専門委員会
開催日時	2020年5月15日(金) 13:30~16:00
開催場所	Zoomによるオンライン開催
参加人数	22名(敬称略・順不同) 高木(都市大)、鈴木(長岡技大)、リン(ナイス)、宇留賀(電中研)、奥出(サウスウエスト研)、深澤(NFD)、中里(MHI)、吉岡(トリウム熔融塩国際フォーラム)、渡邊(静大)、松井(エネ総研)、高橋(東芝)、伊藤(NDC)、稲垣(中電)、永沼(JAEA)、小坂(MFBR)、大本(関電)、後藤(東電)、牟田(阪大)、佐々(JAEA)、魚住(電中研)、北田(北大)、竹澤(都市大)(記)
議事	<p>(1)前回議事録の確認(竹澤幹事) 第7回研究専門委員会の開催報告が紹介され、本内容で承認された。</p> <p>(2)2020年秋の大会企画セッションでの報告について(高木主査) 高木主査より2020年秋の大会企画セッションでの報告を一般公開とする方針が提案され、質疑応答を経て了承された。</p> <p>(3)タスク1(Th原子カシステム研究開発の世界動向調査)(佐々幹事) 佐々幹事より企画セッションでのタスク1報告として、様式ごとに代表的な炉概念を紹介する方針が提案され、質疑応答を経て了承された。</p> <p>(4)タスク2(トリウムとウランの比較)(魚住幹事) 魚住幹事よりタスク2の取りまとめ状況が報告された。また、企画セッションでのタスク2報告では、U/Th燃料の基礎物性の収集結果に焦点をあてて報告する方針が提案され、質疑応答を経て了承された。</p> <p>(5)タスク3(我が国のトリウム原子力研究の在り方の提言)(高木主査) 木主査よりタスク3報告の素案が提案され、質疑応答を経て了承された。</p> <p>(6)その他 高木主査より委員会延長の趣旨と活動内容案が説明され、質疑応答を経て委員会の延長方針が了承された。</p>
備考	なし